

**年末年始
安全総点検
実施中**

令和7年12月10日から
令和8年 1月10日まで



東個協ニュース

発行人
東京都個人タクシー協同組合
理事長 櫻井 敬寛

〒164-0013 東京都中野区弥生町5-6-6
個人タクシー会館
TEL (3384) 1351代表
FAX (3382) 2191

組合員数 5,009人 (11月1日現在)

令和7年度 役員研修会

自動運転社会の到来と 個人タクシーを考える

10月20日(月)午後1時30分より、「令和7年度役員研修会」が個人タクシー会館にて開催された。2人の講師をお招きし、「自動車運転技術の現状等について」「ハラスメント防止のためのコミュニケーション」の2講演が行われた。本部役職員と支部役員合わせて154名が出席した。



開会挨拶
櫻井 敬寛 理事長

先月8月末に国交省の課長をはじめとしたいろいろな方と話をする機会があり、我々から多くの要望をお伝えした。その結果、来年度から試験が全部事前試験に変更、また幅員証明がいらなくなる等、緩和していただけたことになった。少しずつではあるが、改革が始まっている。何年もかかったが、地理試験もなくなつた。さらに年3回ある個人タクシーの試験に全て新規許可申請を受け付けてもらえたことになった。個人タクシー業界としては良い方向に進んでいるのが現状である。このように、我々は一生懸命にいろいろな所に要望を出し続けているところである。

一方、残念なことに、令和7年で東個協から無車検運行が3件出ている。さらに免許が失

効している状態での無免許運転も出ている。ぜひ皆さんの支部員の車検を今一度しっかりと確認してほしいと思う。我々がきちんとルールを守れない状態では、いくら要望を出しておいても国交省の方に聞いてもらえないわけがない。これからも要望を聞いてもらうには、我々が改めて襟を正していく必要がある。

霞が関で行った街頭指導に、関東運輸局そして国交省の方々が特別に観察に来られた。国交省の前の指導では、行灯を消して少し離れた場所に何台か駐車している個人タクシーガいた。しかもお客様が手を上げても全然動こうともしない状態が見られた。乗車拒否ではないが、行灯を消していたとしても手を上げているお客様がいたらお乗せする気持ちが必要ではないか。しかも、窓から

まず一つ目は交通事故の削減。特に自動車による死亡事故は、原因が運転者の違反であることがほとんどです。例えば、令和6年の死亡事故発生件数の原因の9割以上が、運転者の違反というデータが出ています。これに対して、自動運転という技術の実用化によってこの件数の削減に期待ができるものと思われます。もう一つは地域公共交通の維持改善。特に人手不足が目の前の課題として挙げられる中で、自動運転技術の普及促進によってドライバー不足の対応についても解決に繋がるのではないかと考えられています。

次世代モビリティを活用した自動運転移動サービス事業等を検討中です。最終的には2027年度にレベル4の自動運転移動サービスの事業化を目指しています。

一方で、自動運転移動サービスの普及には様々な課題もあります。一つ目は自動運転車の初期投資が非常に高額だということ。小型バスの通常費用が2500万円だといわれています。二つ目は自動運転車の運転移動サービスの定義は、①優越的な関係を背景とした言動であって、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者

厚労省によるパワーハラスメントの定義は、①優越的な関係を背景とした言動であって、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者

に耳をかたむける。

なぜ怒っているのか、怒る理由の裏側「乗る前にかなり待たされた」「渋滞でイラライラしていた」と、価値観の違いから来る「すべきなのに」という思

いをくみ取る。

2 「べき」の把握

3 判断(仕分け)

4 伝える

5 情報共有

自動車運転技術の 現状等について

国土交通省物流・自動車局

柴田 弾氏

自動運転の意義には、大きく
の商用車においては、人手不足
解消や移動手段確保を目的

ます。

こうした自動運転が今後どう

現実化されるいくのか

など、様々な議論がなされています。

このように、タクシーなど

車両が安全確保、レベル

5でいつでもどこでも無人運

転ができる、というものになり

ます。

このように、タクシーなど

車両が安全確保、レベル

4は

ドライバーが安全確保、

ドライバーが安全確保

令和7年

自動車関係功労者大臣表彰

10月23日(木)11時より、国土交通省中央合同庁舎共用会議室にて「令和7年自動車関係功労者大臣表彰式」が執り行われた。

全国個人タクシー協会が推薦した個人タクシーの全国表彰者のうち東個協から三浦康之さん(荒川支部)と古澤和行さん(武三支部)が大臣表彰の栄誉に輝いた。式典後にはグランドアーク半蔵門で行われた全個協主催の記念昼食会にて、受賞者に記念の盾が贈られた。



式辞 金子恭之国土交通大臣

令和7年自動車関係功労者大臣表彰にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本日表彰を受けられる皆様におかれましては、この度の受賞、誠におめでとうございます。公共交通機関として国民の皆様の日々の生活や地域の観光を支えているバス、タクシーやレンタカー業界の皆様、経済の大動脈の物流を担うトラック業界の皆様、安全安心な自動車交通を実現する整備・販売業界の皆様、これまでの長年にわたる皆様の献身的なご尽力からなるご功績に対し、深く敬意を表します。また、長年事業者を支えてこられたご家族の皆様に対しましても、心からお祝い申し上げます。

国土交通省といたしましては、自動車交通にとって最重要のテーマである、安全安心の確保に向け、事業用自動車の安全対策の推進や自動運転技術の開発などを行ってまいります。また、大変深刻化している自動車の運送業や整備業における人材不足の問題に対応するため、政府を挙げて、長時間労働の是正等の働き方改革の他、適正運賃の実現をはじめ、取引環境の適正化等に全力で取り組んでまいります。

こうした取り組みを進め、我が国の自動車関係分野を一層発展させていくためには、皆様のご理解とご協力が大変重要であります。皆様には、各分野のリーダーとして、今後ともご活躍いただきますとともに、引き続きのお力添えをお願い申し上げます。



荒川支部 三浦 康之さん

一定の規律の中で自由な時間を創り出し、たくさんの事柄や趣味等に使えるのが個人タクシーの魅力だと思います。日々の運転では、常に自車両の前後左右の視認(特にオートバイや自転車)をし、右折左折時の横断歩道の歩行者に最善の注意を払い、狭い道路での人や軽車両の飛び出し等に注意をすることをしています。これらの日々取り組んだ安全運転の積み重ねの結果としてこのような受賞ができたのではどうぞよろしく思っています。これからは年齢的な衰えも多少考慮しつつ、健康に十分留意しながら、もう少しこの仕事を続けて行きたいです。

武三支部 古澤 和行さん

個人タクシー事業者になって20年。頑張っただけ成果が出るので、やりがいのある仕事だと思います。今までを思い返すと、楽しかったこともありました。特にコロナ禍の時には、お客様がいなくて、売り上げがほとんど無くなり、このままでは生活できないからと、廃業も頭によぎりました。今はあきらめずに続けていて本当に良かったと思っています。これからも事故は起こさぬよう、体調に気を付けて安全運転を心がけたいと思います。そしてもちろん違反もしないように気を付けていきます。

事業講習会は、新しく個人タクシー事業者になった人に向けて、公共交通機関としての責任に対する自覚を再認識する目的として開催され、個人タクシーの基本的な方針や、今後の営業上の注意点等について、関東支部役員及び行政当局の担当官による講演が行われた。

令和7年 自動車運送事業運転者表彰式

10月7日（火）午後2時より、横浜市の神奈川
る「令和7年自動車運送事業運転者関東運輸局
シー受賞者は13名（うち東個協9名）であつた。

關東運轉局
藤田礼子局長式辭

たたいま、自動車運送事業の優秀な運転者として348名の方々が表彰されました。皆様、大変厳しい交通環境の中、永年にわたり事業用自動車の運転者として優れた運転技術により日々業務に精励され、責任事故や交通違反がないことはもとより、提供する輸送サービスの質においても、極めて高い評価を受けられた方々であります。

生活の向上と我が国の経済の発展に大きく貢献してきたことは、皆様のご努力や卓越した技量の賜物であります。これまでのご功績に対し改めて敬意を表し、感謝を申し上げますとともに、本日の受賞を心よりお喜び申し上げます。また、受賞者の皆様を支えてこられたご家族や同僚の方々に対しましても、この場をお借りして心からお喜び申し上げます。

申し上げるまでもなく、自動車運送事業は我が国の発展の

おかげましては、引き続き安全で上質な輸送サービスの提供をお願い申し上げます。

さて、生産年齢人口が減少していく中、自動車運送事業に従事するドライバーの人手不不足は業界全体で深刻な状況であり、交通空白の問題や物流の2024年問題も社会的課題となっています。我々関東運輸局といたましても、地域の足や観光の足を確保すべく、自治体と事業者との橋渡しをする

お祝い申し上げますとともに、本日の受賞を契機に、長年培られた技術と豊富な経験をぜひとも後進の指導育成に生かしていただき、輸送サービスの充全と質の向上に引き続きご力賜りますようお願い申し上げます。



**品川第二支部
伊藤朝浩支部長**



受賞者を代表して表彰を受ける
水野智文副理事長

個人タクシー認可書交付式

10月16日(木)午後3時45分より、個人タクシー会館において関東運輸局による「個人タクシー認可書交付式」が開催され、東京都では141名(うち東個協68名)の新事業者が誕生した。



れた皆さんですが、これからも引き続いて法令遵守というのをしっかりとやっていたら、さうなる接客サービスの向上、知識の習得に心がけていただければと思います。「こち以上ほいらない」というものではないといつことは、皆さんよ

墨東支部

神宮秀樹次長 挨拶
国土交通省では国土交通大臣を本部長とした交通空白解消本部というものを設置し、地域の公共交通の確保のため、本年から3年間を対策期間として運送事業者の皆さんとともに対策に取り組んでおり、具体的には、法人タクシーによる口頭版ライドシェアといつたものでご貢献いただいているところです。あらゆる曜日や時間帯で、極力タクシー不足を生じさせないようにするためにも、法人タクシーだけでなく、個人タクシーの皆さんとの協力が不可欠です。交通空白時間帯、タクシー不足となっている時間帯の解消にご理解とご協力

をいただければと思つていませんので、どうぞよろしくお願ひします。

それから次にお願いしたいのは輸送の安心安全の確保ということです。旅客のための、ご自身のため、ご家族のためにも、ぜひ所属組合等で行う安全講習などに積極的に参加して、初心を忘れないように心がけていただければと思います。

また健康であることが、安心安全の要、根幹です。計画的な定期検診を引き続き受診することによって、健康管理を徹底してください。

次に法令順守やビジネススキルといったものの向上です。今回審査基準をクリアして無事に譲渡譲受の認可を受けら

対しては、我々は厳しい措置を講じて、実効性のある監査処理を行つてまいります。そして地理に精通すること、バリアフリーに対応すること、こういったことは、今取り沙汰されている日本版ライドシェアでは実現はできることがあります。「やはりタクシーは違う」というように別格化が狙える要素であります。さきには経験豊富な個人タクシ�이가支持を受けられるかどうかの要でもあるので、しっかりと積極的な習得をお願いできればと思っています。

車の運転が好きで、一人で自由に働くことができるタクシーを仕事に選びました。法人時代に個人タクシーになる条件を満たしていることに気が付き、プライベートの時間を充実させながら仕事ができる個人タクシーになりたいと思いました。既に個人タクシーになっている兄弟もいたので、とても助かりましたし、資金面では妻がサポートしてくれて、とても感謝しています。これからは収入を安定させ、仕事とプライベートをさらに充実させていきたいと思います。

Digitized by srujanika@gmail.com

